県本部・活動拠点本部会議（８月 11 日・朝）議事要旨

■決まったこと、全体への連絡事項

- アセスメントをとる目的は次の生活につなぐための作業でもある。避難者の出口支援を頭に入れた対応を徹底すること。
- 仮設住宅への移行にあたってのアセスメントを行う場合は、申し込み済みか、希望なのか、罹災証明書取れてるのか、手続きしているのかも確認すること。

■各拠点からの報告　※特記事項

- 八代地域
  - 相談窓口引き続き対応
  - グループホーム福寿荘の職員不足　→　施設間応援で対応検討

- 宇城地域
  - 宇土アリーナが午後から集約
  - 高齢者支援事業すすめるにあたって包括と一緒にラウンド
  - 本日木村さんが巡回し、拠点機能を確認

- 氷川地域
  - 桜が丘別荘の移転、宮原福祉センターへ様子見
  - 引き続きアセスメントすすめる

- 本部
  - 本日昼～午後、各拠点へ PC 配布。その際必要な備品あればこのあとすぐ本部まで。
  - 宇城の包括支援　福祉ニーズへの対応ということで DWAT がかかわる形で対応する（自見議員の件）。
  - 八代の D24H 問題は本部が訪問した際に対応

■今後検討が必要な事項

特段なし